

家畜衛生だより 平成30年8月号

紀北家畜保健衛生所

TEL 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

TEL 0739-47-0974

東牟婁支所

TEL 0735-58-1481

養鶏場の効果的な消毒について

本年も秋から春にかけて渡り鳥による高病原性及び低病原性鳥インフルエンザウイルスの国内侵入が懸念されています。残暑が厳しい中ではありますが、冬季を迎える前に衛生対策として今一度下記の消毒方法の再確認をお願いいたします。

消毒薬使用の際の注意点

・濃度

消毒薬の種類によって異なるので、用法・用量に従い使用しましょう。

・時間

発泡消毒など接触時間が延長されると効力が増します。

・温度

温度が高いほど殺菌効果が強くなります。冬季は低温により効果が下がるため消毒液の希釈倍率を下げて薬剤の濃度を上げる必要があります。塩素剤等揮発性の高い薬剤は高温で成分が蒸発するので夏季は注意が必要です。

・pH

消毒剤の性質により効力が酸性側で強くなるもの(塩素剤・ヨード剤など)とアルカリ性側で強くなるもの(逆性石けんなど)があります。

・汚れ(有機物)

糞などの汚れの中には病原微生物が潜んでいます。十分に除去しないと消毒薬の殺菌効果が期待できません。

各消毒時の注意点

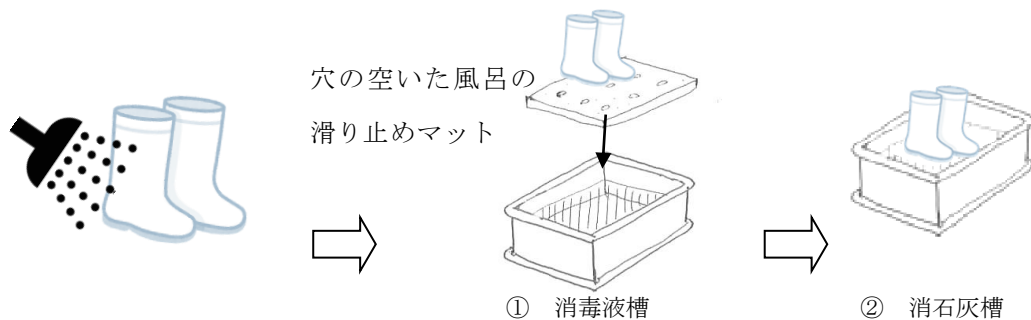
① 手指・持ち込み物品の消毒

手指は石けんで汚れを落とし、水道水で石けん成分を洗い流した後、速乾性手指消毒剤等を使用して確実に消毒を行きましょう。

持ち込み物品は逆性石けんや消毒用アルコールまたはその混合液を対象物から約 30cm 離れた所からA4サイズあたり 10 プッシュ(約 6mL)噴霧しましょう。

② 長靴の消毒

長靴は水洗にて十分に汚れを落とします。消毒槽を 2 つ用意し、1 つに逆性石けん液等の消毒液、もう片方に消石灰を入れます。雨や日光による消毒液の変質を防ぐため、消毒液の入った消毒槽に穴の空いた風呂の滑り止めマットなどを中蓋として置き、そのまま上から踏み込んで使用します。その後、消石灰槽に踏み込むことにより仕上げの消毒が行えます。



③ 車両など外部との接点の消毒

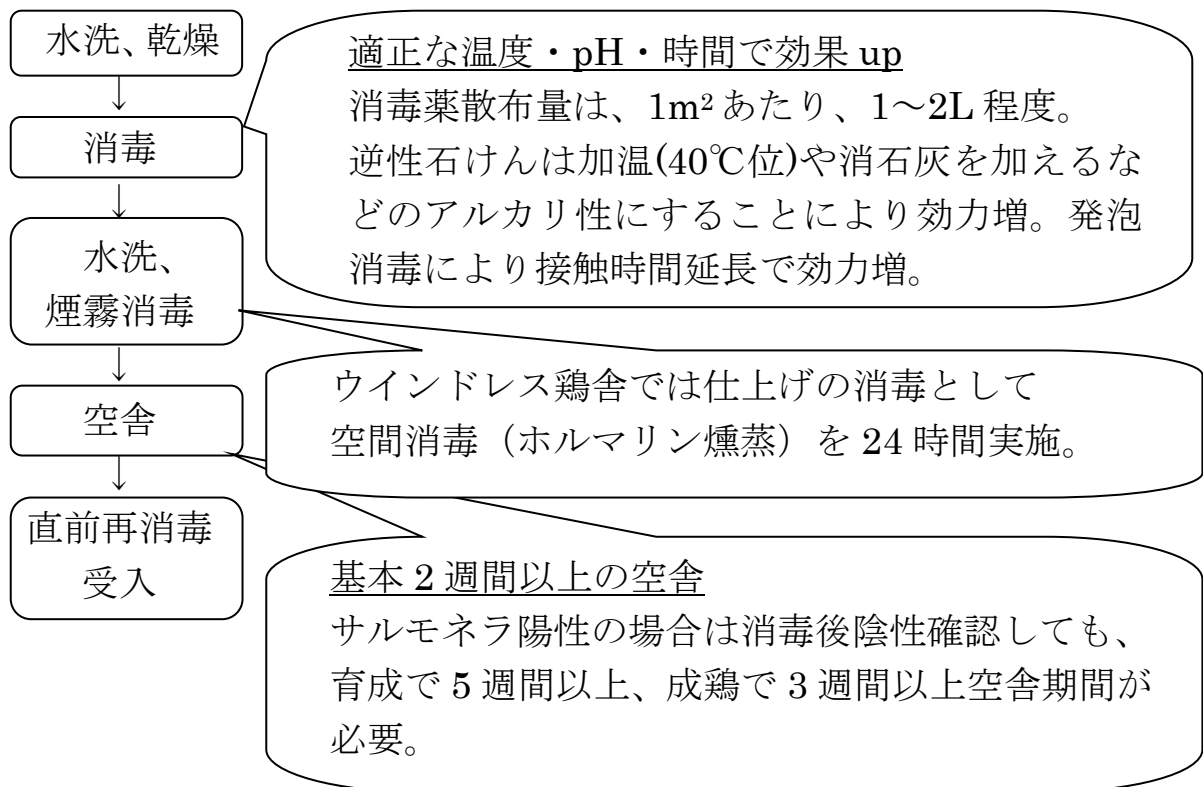
泥汚れ等が多い場合は汚れを十分に洗い流した後、逆性石けん液等を用いてタイヤ周りを重点的に動力噴霧器または車両消毒装置等で消毒しましょう。

④ 鶏舎の消毒

オールアウト
清掃

確実な汚れの除去

確実な消毒のためには水洗により糞などの汚れ（有機物）を十分除去する必要があります。動力噴霧器等で確実に汚れを徹底除去！



⑤ 消石灰散布

散布に当たっては、吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具(マスク、ゴーグル、ゴム手袋など)を着用して、風上から散布するようにして下さい。

消石灰が近隣河川への流入せぬよう十分注意して散布して下さい。

消石灰の基本散布量

- ・コンクリート、アスファルト: 1m²あたり 500g 程度
- ・土: 1m²あたり 1kg 程度

* 冬季は一度だけ散布するのではなく、一定間隔(2~4 週間程度)で継続散布することが重要です。

気になる点や不明な点がありましたら所轄の家畜保健衛生所にご相談ください。